

社会福祉法人 日本盲人社会福祉施設協議会 創立70周年記念誌

日盲社協70年のあゆみ

1953 - 2023



社会福祉法人 日本盲人社会福祉施設協議会

栄光の50周年記念式典と苦難のオンライン大会

昭和28年（1953年）から令和5年（2023年）の「日盲社協70年のあゆみ」は平坦ではなかった。昭和30年（1955年）から昭和47年（1972年）までの高度経済成長により日本経済が急成長をすると、一般国民も障害者福祉に関心を向ける余裕が出てきた。また、昭和56年（1981年）の国際障害者年によって障害者に対する国民の理解は劇的に進んだ。このため昭和61年（1986年）11月から平成3年（1991年）5月までのバブル景気により、障害者施設の整備等に多大な恩恵を受けることができた。

そして日盲社協が大きく発展する中で平成15年（2003年）に天皇皇后両陛下をお迎えして、本間昭雄理事長の下で、日盲社協50周年記念式典が開催された

が、これは日盲社協にとっては50年間の事業を総括する一大事業であった。

一方、「日盲社協70年のあゆみ」の苦難を象徴するものは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）によって世界中の多くの都市が封鎖（ロックダウン）され、わが国も長期間の自粛を余儀なくされた。このため令和2年（2020年）6月に開催予定だった第68回全国盲人福祉施設大会（滋賀大会）は、準備万端整っていたが急遽中止のやむなきにいたった。

そこで「日盲社協70年のあゆみ」の象徴的な事業である「50周年記念式典」とコロナ禍で苦肉の策としてオンラインで開催された第69・70回全国盲人福祉施設大会をグラビアでここに記録する。

▼ 50周年記念式典で挨拶する本間昭雄理事長

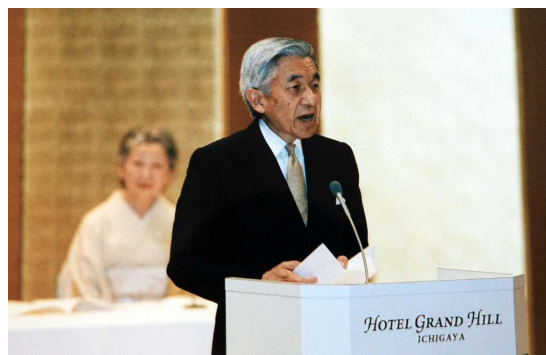


Golden Jubilee Ceremony

日盲社協創立50周年記念式典が、平成15年（2003年）9月29日（月）、天皇皇后両陛下（現上皇上皇后両陛下）をお迎えして、ホテルグランドヒル市ヶ谷にて

厳かに、しかも華やかに開催された。

▼ 挨拶に立った本間理事長は、創立大会から欠かさず参加されてきた





▼ 本間理事長のかたわらには常に糟糠の妻麻子夫人の姿があった



コロナ禍の下、第69回全国盲人福祉施設大会が令和3年（2021年）11月11日（木）午後1時から、東京都新宿区の東京視覚障害者生活支援センターを配信会場にZoomのオンラインで開催された。

開催にあたっては、「東京都新型コロナウイルス感染症対策条例」の趣旨に則った感染防止策を徹底し、来賓も東京都知事（代理）一人に絞った。全員マスクをしておの参加だったが、写真撮影のときだけは特別に、短時間マスクをはずしていただいた。



